

外国資料No. 3

フランスにおける  
警察官に関する諸規程

(任用給与定年等)

昭和45年10月

人事院給与局研究課

本資料は、1968年1月にフランスの警察官に関する任用、給与、定年等人事に関する制度が大幅に改正され、これに伴ない同制度に関する諸政令が全面改正の形で制定公布されたので、新制度紹介のため、これらの諸政令を訳出したものである。

フランスの警察は、従来パリー警視庁および内務省警察局が所掌する国家警察と軍に所属する憲兵隊との3組織からなっていたが、上記の1968年1月の警察関係の改正の際、警視庁は内務省警察局に統合され、現在は内務省の所掌する国家警察と軍に所属する憲兵隊の2本建となっている。なお、その管轄地域の配分は、パリー警視庁がパリー市および隣接3県を管轄し、その他の地域のうち人口1万未満自治体を憲兵隊が、人口1万以上の自治体を内務省警察局が管轄している。

また、警察官には、私服警察官と制服警察官の2種類があり、私服警察官は主として刑事々件を、制服警察官は主として行政警察を担当しており、その職名、採用方法、給与、昇進等が全く異なっており、両者間の交流はなく、制服警察官は旧軍人の出身者が多い。

訳者 橋 爪 幸 男

国家警察の警察官の官職名一覧表

I 私服警察官

1. 私服警視職員群

- (1) 警視長 commissaire divisionnaire
- (2) 警視正 commissaire principal
- (3) 警視 commissaire de police

2. 私服警部職員群

- (1) 主任警部 officier de police principal
- (2) 警部 officier de police

3. 私服警部補職員群

- (1) 1級警部補 officier de police adjoint de 1<sup>er</sup> classe
- (2) 2級警部補 officier de police adjoint de 2<sup>e</sup> classe

II 制服警察官

1. 制服警視および警部補職員群

- (1) 警視長 commandant de groupement
- (2) 警視正 commandant principal
- (3) 警視 commandant
- (4) 警部 officier de paix principal
- (5) 警部補 officier de paix

2. 巡査部長(grade)および巡査職員群

- (6) 主任巡査部長 brigadier chef
- (7) 巡査部長 brigadier
- (8) 巡査長および巡査 sous-brigadier et gardien de la paix

(1968年1月24日の政令による警察官の等級)

目次

1. 国家警察の警察官に適用される共通規程を定める1968年1月24日の政令第68-70号	1
2. 国家警察の現場機関の管理および監督官職に関する1968年1月29日の政令第68-84号	8
3. 国家警察の私服の警視(commis saire de police)職員群の個別規程に関する1968年1月29日の政令第68-88号	10
4. 国家警察の制服の警視(commandant)と制服の警部補(officier de paix)職員群の個別規程に関する1968年1月29日の政令第68-89号	14
5. 国家警察の私服警部(officier de police)職員群の個別規程に関する1968年1月29日の政令第68-90号	19
6. 刑事訴訟法典第R10条(1966年9月28日の政令第66-716号)	21
7. 国家警察の私服警部補(officier de police adjoint)職員群の個別規程に関する1968年1月29日の政令第68-91号	22
8. 国家警察の巡査部長(grade)および巡査(gardien de la paix)職員群の個別規程に関する1968年1月29日の政令第68-92号	26
9. 警視庁の特別職員臨時職員群(corps provisoir des agents spéciaux de la préfecture de police)の個別規程に関する1968年1月29日の政令第68-93号	29
10. 国家警察の警察官に適用される定年に関する1968年1月29日の政令第68-86号	30
11. 国家警察の警察官の等級および官職の俸給区分を定める1968年2月16日の政令第68-207号	32